

		解答例	配点	
1	問 1	①貝や魚をとって食料としていた。②動物や木の実をとって食料としていた。 ③土器をつくり、食料をたくわえたり、煮たりした。④石器を使って狩りをしていた。	(各 3) 9	
	問 2	①海辺に近いところ ②川にそったところ。	4	
	問 3	小さな貝をとりすぎると、貝がなくなってしまうので、資源保護のために 2 歳貝をとった。	3	
2	問 1	問 1	問 1 5 問 2 7	
	問 2	問 2		
				
3	問 1	手順 はじめに新聞紙などの燃えやすいものを丸め、周りに小枝や乾いた木の皮を置く。マッチで火をつけ、様子をみながら、徐々に太い枝や木を入れ、火を大きくする。火力が強くなったら、太いまきを組むように入れる。 理由 太いまきはすぐに火がつかないのであらかじめ火の勢いを強くすることと、太いまきを入れるときは、空気がよく入るようにすき間をつくる必要があるから。	手順 6 理由 3	
	問 2	①コンピュータに、最適な火加減や時間があらかじめプログラムされている。 ②中がちょうどよい圧力になるよう調整する弁がついている。 ③温度センサーがあり、温度をはかりながら、火力を調節できる。 ④おかま全体がむらなく熱くなるような厚釜や土鍋などが使われている。	(各 3) 6	
4	問 1	1 位 鹿児島県 2 位 宮崎県 3 位 岩手県	1 0	
	問 2	①野菜の生産額が全国 1 位で野菜作りがさかん。②農業生産額にしめる野菜の割合が高い。 ③農業生産額が全国 4 位で農業がさかん。④畜産の生産額が全国 6 位。	(各 3) 6	
	問 3	① 1 年中、野菜を収穫している。 ②ねぎを中心に栽培し、春から冬のはじめまで収穫できるようにしている。 ③ハウスを使って、寒い時期にねぎの種をまいている。 ④ねぎの収穫できない時期に別の作物を栽培している。	(各 3) 6	
	問 4	農 家 市場までの輸送費が安い。新鮮なものを出荷できる。消費者のニーズや好みが変わり、計画的な生産ができる。 消費者 新鮮なものが食べられる。生産地や生産者が身近でわかっているので安心。地域の経済に貢献できる。	(各 3) 6	
5	問 1	16 日	4	
	問 2	休める日数 12 日 (休みも最大) 8 日 (最短工程ならば可) 作業の動き (例) 作業員① C→F→H→ロボット (例) C→F→H 作業員② A→E→G A→E→G 作業員③ B→D B→D→ロボット	1 0	
6	問 1	太陽電池パネルが太陽に直角に当たると最大の発電をするので、日本では、平均 30 度くらい傾け、赤道直下のエクアドルでは、真上に向けてると、発電効率がよい。	3	
	問 2	長所 ①クリーンなエネルギーである。 ②電線の引けない場所で使用できる。 ③昼間の電力消費の節減に役立つ。 ④運転コストが安い。 短所 ①発電量が天気によって左右される。 ②太陽電池を設置する費用が高い。 ③大きな電力を得るには広い場所が必要。	(各 3) 1 2	

適性検査 II

作文	省略
----	----

平成 21 年度 適性検査 I 解答用紙 千葉市立稲毛高等学校附属中学校

受験 番号	氏名	得点
----------	----	----

1 問 1

2

3

問 2

問 3

2 問 1

問 2

3 問 1

手順

理由

問 2

1

2

4 問 1

1位

2位

3位

問 2

1

2

問 3

1

2

問 4

風家

消費者

5 問 1

作業の動き

作業員①

作業員②

作業員③

日

問 2

休みの日数

日

6 問 1

問 2

長所 1

長所 2

短所 1

短所 2